

協議会から加山市長へ要望書を提出

平成30年2月8日（木）まちづくりに関する要望を加山市長に提出しました。



▲要望書を渡す中里会長



▲市長を交え記念撮影

～協議会からの要望内容～

1. 小田急多摩線延伸について、早期実現とともに、相模原の「顔」となるまちづくりと一体となった駅舎の整備等を行い、ＪＲ横浜線とのスムーズな乗り継ぎ等について検討すること。
2. 広域交流拠点の交通ネットワークの一つとして、多摩方面や町田街道と国道１６号との連携強化を担う動線として（都）宮下横山台線の延伸を推進すること。
3. 相模原駅周辺のまちづくりを計画するにあたり、将来の相模総合補給廠全面返還を見据えて、新市街地と既成市街地の回遊性の向上を図るため、ＪＲ横浜線相模原踏切の改良の検討を行うとともに、南北の分断要素であるＪＲ横浜線の連続立体交差化の検討を行うこと。
4. 地域振興のため一部返還地へのＭＩＣＥ機能の導入の検討を行い、施設については複合的な機能を有し様々なイベントに対応可能なものであるとともに、市内外からの集客にも対応可能な規模とすること。また、誘致組織の構築に向けた検討を推進すること。

市長からは「本日いただいた要望については、いずれも重要な事項であり、しっかりと受け止めさせていただきたい」とお言葉をいただきました。

相模原駅周辺まちづくり推進連絡協議会のコンセプトが決定

協議会が活動していく上で軸となるコンセプトの設定を行いました。勉強会で出た意見をまとめ、会員の皆様にアンケートを実施した結果、“人が集い にぎわいのある街”に決定しました。

平成30年度はこのコンセプトを基に各地区で課題の抽出を行い、既存事業の見直しや他地区との連携、新規事業の実施などについて取組みを進めていきます。

大宮盆栽美術館・UDCOで視察研修会を実施

3月5日（月）大宮盆栽美術館とアーバンデザインセンター大宮（UDCO）で視察研修会を行いました。

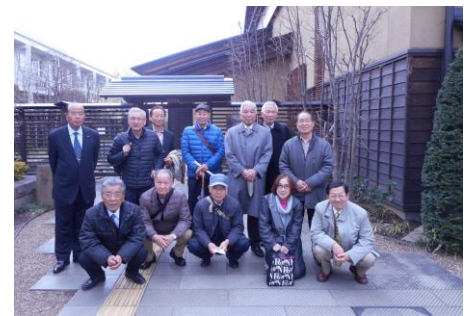
総合的な盆栽文化を発信する世界初の公立の盆栽美術館として設立された大宮盆栽美術館は、盆栽を中心に、盆器、水石、歴史資料などを紹介しています。

学芸員の方から盆栽に関する基本的な知識や盆栽の見方などの説明を受け理解を深めました。

また、盆栽の聖地「大宮盆栽村」について学び、閑静で風情ある街並みが続く盆栽町を散策しながら、途中で老舗盆栽園を見学しました。



▲盆栽美術館



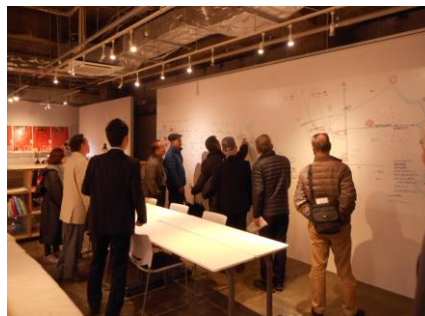
▲集合写真

UDCOは市民、行政、企業、教育・研究機関など、様々な主体が連携してまちづくりを推進するため、昨年4月、全国で15ヶ所目となるアーバンデザインセンターとして設立されました。ここでは、UDCOの設立の経過や役割、設立後約1年間のさまざまな取組について説明を受けました。

また、講義後は大宮駅周辺のまち歩きを行い、実際にUDCOの取組の舞台であるOM TERRACEや大宮区役所前の公共空間を見学しました。



▲講義の様子等



▲OM TERRACE 見学

平成30年度は、昨年度設定したコンセプトに対してそれぞれの地域・商店会が「地域の現状を把握する」ことや「地域課題解決のための取組み」を実施していくことが必要となりますので、より一層相模原駅周辺まちづくり推進連絡協議会へのご協力をお願い致します。